



台風第10号に係る鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和6年8月28日(水) 午前11時30分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

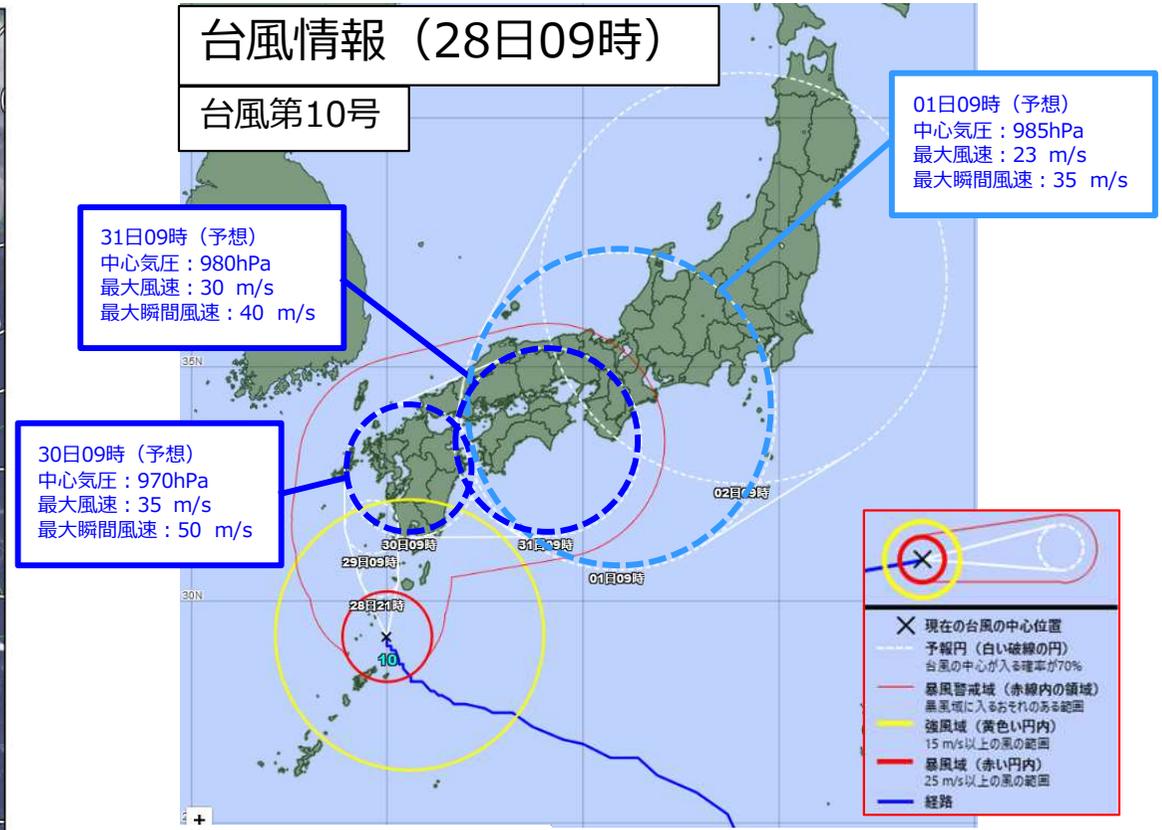
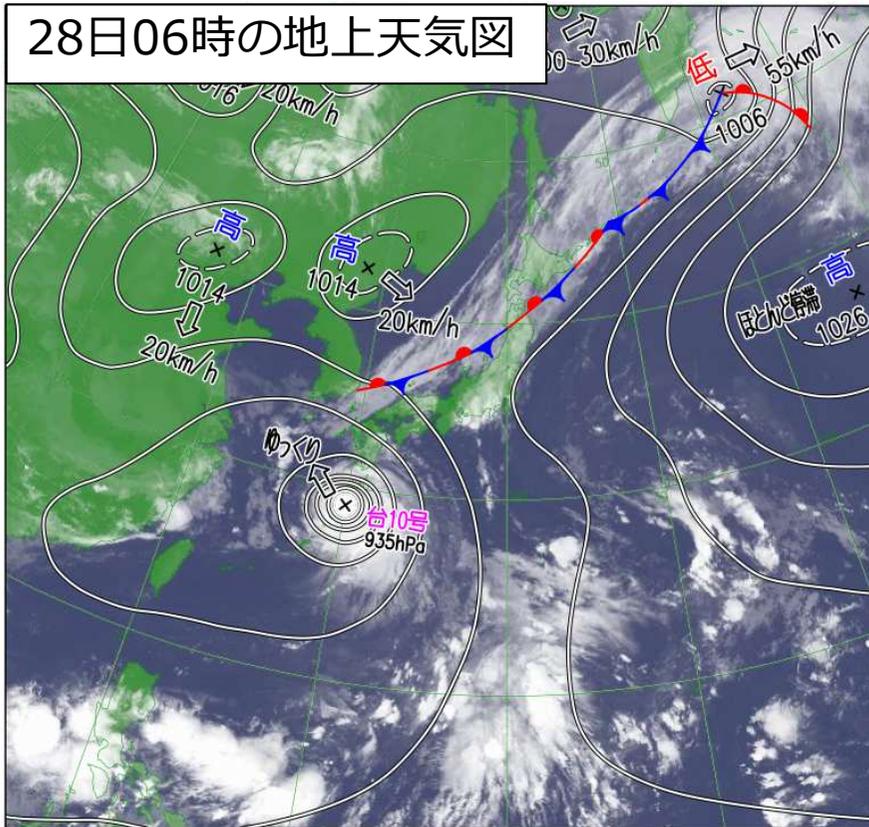
**【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部局、鳥取地方気象台
自衛隊、県警、消防局、
鳥取河川国道事務所、鳥取運輸支局
中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)
NTT西日本(株)、JR西日本(株)**

(配信) 総合事務所、市町村、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所

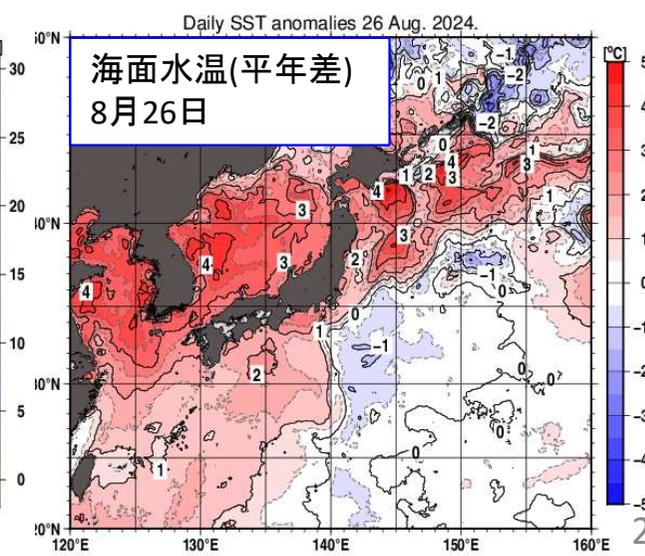
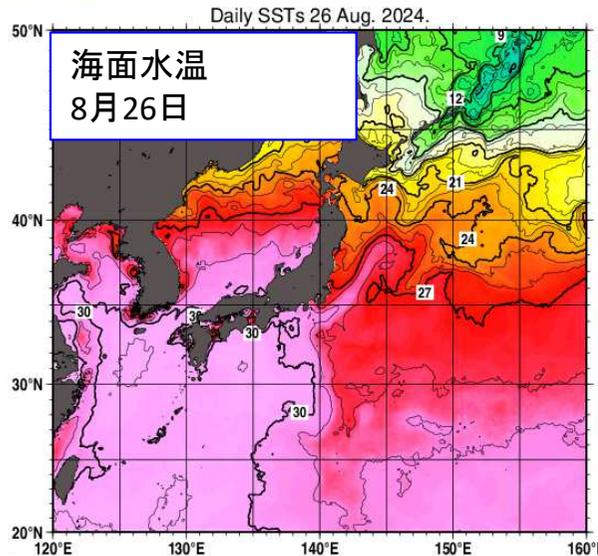
【次 第】

- (1) 最新の気象状況及び今後の予測等**
- (2) 市町村・県民への注意喚起**
- (3) 警戒・即応体制の確保等**

概況



・非常に強い台風第10号は、九州地方付近を北上し、30日以降、鳥取県へ接近する見込みです



8月28日09時 現在

		28日				29日								30日				
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
台風最接近																		
大雨の早期注意情報											[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	
暴風の早期注意情報														[中]	[中]	[中]	[中]	
大雨(浸水) (ミリ)	東部	15	20	20	10	0	5	5	10	15	20	20	20					
	中・西部	15	20	20	10	1	5	5	10	15	20	20	20					
大雨(土砂)	東部																	
	中・西部																	
雷	鳥取県	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注					
風 (メートル)	東部	陸上	6 ↓	6 ↗	3 ↗	3 ↗	4 ↗	4 ↗	4 ↗	6 ←	10 ←	10 ←	12 ←	12 ←				
		海上	10 ←	10 ←	10 ←	9 ←	9 ←	10 ←	10 ←	12 ←	13 ←	13 ←	15 ←	15 ←				
	中・西部	陸上	8 ↗	7 ↗	5 ←	4 ↗	4 ←	4 ←	6 ←	8 ←	10 ←	10 ←	12 ←	12 ←				
		海上	10 ←	10 ←	10 ←	9 ←	9 ←	10 ←	10 ←	12 ←	13 ←	13 ←	15 ←	15 ←				
波浪 (メートル)	鳥取県	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	2.5	2.5					
高潮 (メートル)	東部	0.5	0.4	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4					
	中・西部	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4					

警報級
注意報級

24時間降水量 (多い所)
 29日12時～30日12時
 東部 80ミリ
 中・西部 80ミリ

24時間降水量 (多い所)
 30日12時～31日12時
 東部 120ミリ
 中・西部 120ミリ

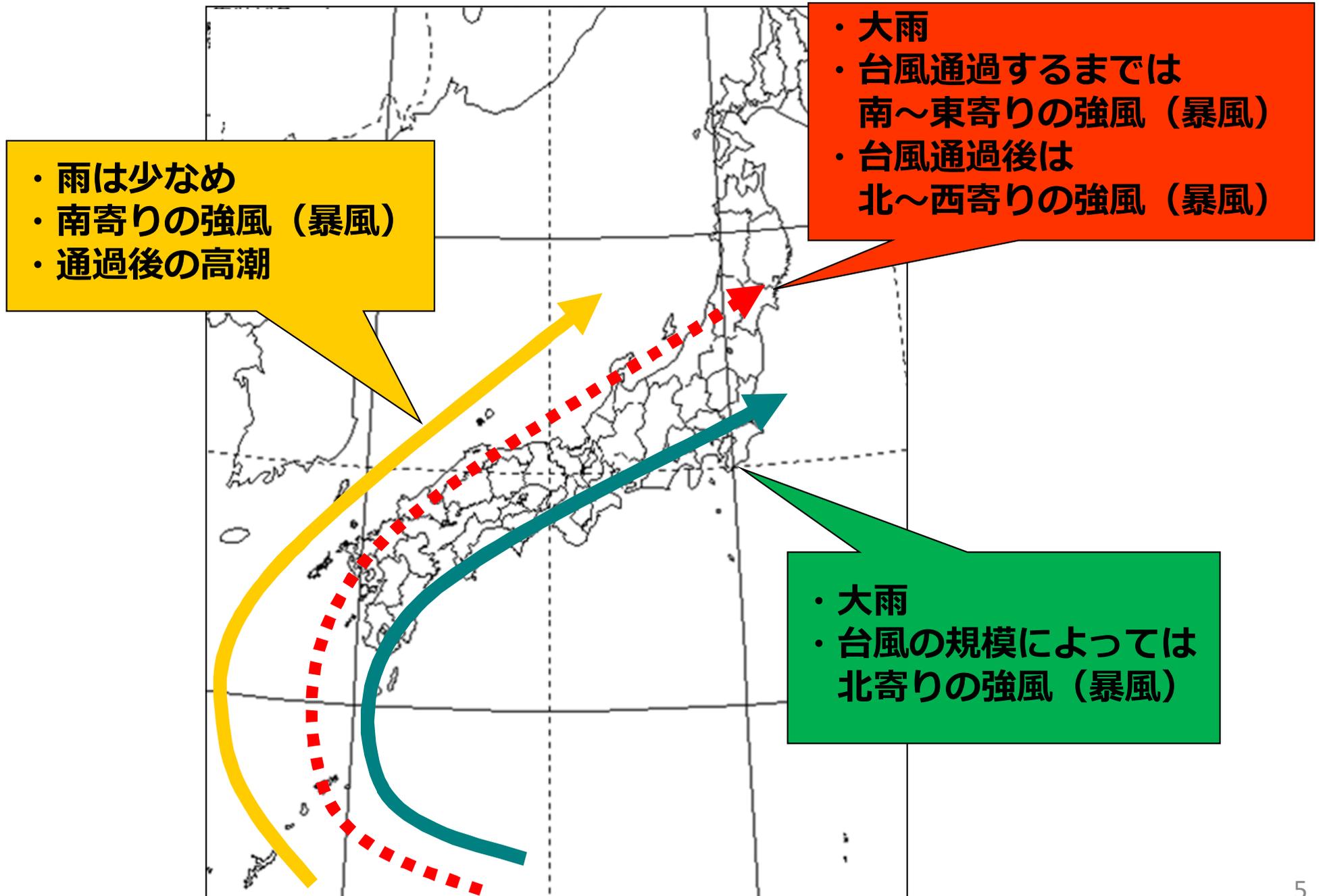
30日 風 陸上 15メートル
 海上 20メートル
 波 3メートル

【31日】
 ・台風が接近する影響で、早期注意情報、大雨、暴風 [中] を発表中。
 ・台風周辺の雨雲や北寄りの風の吹き付けによる雨で、大雨となるおそれ

- 非常に強い台風第10号は、九州地方付近を北上し、30日以降、鳥取県へ接近する見込みです
- 鳥取県では、30日以降、台風周辺の雨雲や北寄りの風の吹き付けの雨により、大雨となるおそれがあります。また、台風が北寄りの進路をとった場合は、暴風や台風本体の発達した雨雲により、さらに降水量が増えるおそれがあります。
- これまでの大雨により地盤が通常よりゆるんでいる地域があり、特に土砂災害に十分注意が必要です。

<防災事項>

- 土砂災害、浸水害、河川の増水、強風、高波、落雷、突風。



昨日(8月27日)の大雨被害について

■ 人的被害 なし

■ 住家被害 被害情報なし

※ただし、伯耆町では**突風の影響**とみられる被害が発生。

・住家瓦の飛散や、飛散物による窓ガラス破損（複数棟。棟数は本日調査予定）

・もと養鶏場（現在は廃屋）が倒壊（おそらく2棟）

※昨日夕方から、県内では竜巻注意情報が発表されるなど、大気不安定な状態。

（本日13時頃より、鳥取地方気象台（気象庁 機動調査班（JMA Mobile Observation Team : JMA-MOT））が現地調査を行うとのこと。）

・伯耆町内では、倒木による電柱の折損により停電が発生。340戸に影響。

（27日23:33復旧）



オペレーション体制

○特別警報の可能性(8/28朝 気象庁)

- ・28日昼ごろ 鹿児島県に暴風、高波、高潮の特別警報を発表する可能性
- ・今後 鹿児島県と宮崎県に大雨の特別警報を発表する可能性

○政府の対応状況

8/28 8:00 令和6年台風第10号特定災害対策本部設置

○県の対応方針

- 合同連絡会議の設置 (Web会議の常時接続で)
- 災害対策本部の設置 (気象警報発表など県内の危険性が高まった場合)
 - ・合同対策会議の設置 (Web会議の常時接続で)
- 県内応援態勢の確認
 - ・知事による緊急消防援助隊に対する指示等 (消防組織法第44条の3第1項)
- 県外からの応援要請への対応
 - ・自衛隊 災害派遣
 - ・消防局 緊急消防援助隊
 - ・警察 広域緊急援助隊

○全国知事会の対応状況 8/28 情報連絡室設置

<県民のみなさまへ>

○今回の台風は、非常に強い台風です。動きが遅く、北東に進路を変えて日本列島を縦断する見込みですが、気圧配置や偏西風などにより、進路が変わりますので最新の情報に注意してください。

市町村の指示等に注意し、早めの避難や事前準備など、適切に行動してください。

- 台風の接近前からの**暴風**や**大雨**、**長時間の大雨等**に**厳重警戒**してください。
- 停電、通信障害、物流、交通機関等への影響も予想されます。
- 佐治川の関係地域では、防災行政無線や音声告知端末で連絡するなど、早めの避難を呼びかけます。

令和6年台風10号接近に係るタイムライン

**接近
3日前**

2～3日前
注意報など

1日前～
警報など

県民

- **事前の準備**
(屋外の準備)
 - ・ 強風による飛散、破損
 - ・ 雨どいや側溝、排水溝の掃除(屋内の準備)
 - ・ 停電の備え
 - ・ 食料、飲料水、衛生用品等の準備 など
- **最新情報の確認**

- **市町村の避難情報**
- **気象情報**
- **避難所への事前避難**
- **状況が悪化する前に避難開始**
- **状況悪化時に少しでも安全な場所へ**

県
・
市町村

事前準備

警戒本部

災害対策本部

事前準備

連絡会議

合同対策会議
(Web常時接続)

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 防災タイムラインに応じた早めの災害対応

1 住民への注意喚起

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、改めて住民に周知してください。

【住民へ周知する内容】

- 早めの安全な場所へ避難（自主避難含む）
- 市町村からの避難情報に応じ、危険な場所に居る者は速やかに避難
- 防災・気象情報をこまめにチェックし、居住場所の危険性を踏まえ、避難情報の発令を待たず早めに安全な場所に避難 など

2 避難情報等の発信と周知

住民の身体・生命の安全確保のため、確実に避難行動が行われるよう、**的確な避難情報の発信と周知**をお願いします。

- 夜間・危険な状況での避難とならないよう、早めの避難情報発出を検討して下さい。
※状況急変時は、夜間でも避難情報の発出が必要
- 避難情報発出にあたっては、気象・河川水位等の情報を収集し、必要に応じて県関係課に助言を求めてください。
- 確実に住民へ避難情報が伝達されるよう、防災行政無線他様々な手段による伝達をお願いします。
- 障がいのある方への災害情報の伝達については、障がいの特性に応じた合理的な配慮をお願いします。
- 通勤・通学時に大雨が予想される場合等は、無理な外出を控える等の呼びかけを検討ください。
- 小中学校の臨時休業の基準や連絡体制等を改めて確認してください。

(1) 市町村への依頼事項(その2)

3 事前の準備

災害の未然防止、災害発生時の確実な対策実施のため、事前の準備をお願いします。

浸水リスクが高い地域の事前対策

過去に浸水被害があった地域、孤立可能性集落など、対策の再確認

- ・ 詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・ 河川に接続する農業用取水、排水樋門や操作が必要な取水堰の点検と適切な操作体制の確認
- ・ 水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・ 必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

初動体制

夜間や時間外を踏まえた、参集・対応体制の確認

- ・ 職員参集体制の確認（時間外参集、呼び出し基準、参集人員）
- ・ 気象情報の収集伝達方法・体制の確認
- ・ 常時オンライン情報共有の接続準備（機材、URLなど）

避難体制

住民の避難が確実にできるよう、体制の確認

- ・ 避難情報の発令基準の確認
- ・ 消防団等への連絡手段の確認
- ・ 避難所の開設準備、開設手順、開設の連絡方法 等

避難行動要支援者等

高齢者、障がい者等の避難行動要支援者や、要配慮者利用施設など、避難が困難な方の支援について準備

- ・ 個別避難計画作成者等への情報伝達手段、避難支援体制等の確認
- ・ 要配慮者利用施設等への情報伝達体制、避難誘導支援等の確認

(1) 市町村への依頼事項(その3)

4 被害規模の早期把握に向けた被害状況の迅速な報告

迅速な救助や関係機関の速やかな応援のため、避難所（支え愛避難所含む）の開設状況、孤立集落、被害情報等の迅速な報告をお願いします。（緊急時には随時報告をお願いします。）

5 避難所の開設及び生活環境の確保等

避難所の早めの開設と、避難行動が促進されるよう生活環境の確保をお願いします。

生活環境の確保

避難行動促進のため、できるだけ快適に過ごせる良好な生活環境を整備

- 避難所における熱中症予防対策の実施（大型扇風機・空調装置（エアコン）の設置、こまめな水分補給の呼びかけなど）
- 開設当初からのベッド、テント、パーティションなどによるプライバシー環境の確保
- 衛生環境、トイレ、福祉避難所の開設 等

避難所の感染症対策

人が多く集まる避難所での**基本的な感染症対策**

【感染症対策】

- ①可能な限り多くの避難所を開設
- ②避難者の健康状態の確認
- ③マスク着用の推奨、頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底
- ④避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保

(2) 県民への注意喚起等(その1)

1 最新の気象情報等に注意

最新の気象情報や防災情報（土砂災害、河川の状況等）を確認し、早めの避難をお願いします。

気象情報

- ▶ **気象庁ホームページ** <https://www.jma.go.jp/>
キキクル(危険度分布)/台風情報 / 警報・注意報 など



▲キキクル（土砂災害・浸水害・洪水害の危険度）

避難情報・避難所開設

- 各市町村ホームページ
- 防災行政無線
- エリアメール など

河川の状況

- ▶ **鳥取県防災情報ポータル**
<https://tori-bousai.jp/>

(サイト内メニューの  河川監視カメラ から)

- 水位や雨量を表示
- 警戒レベルを5段階で表示



県の発信ツール

鳥取県の防災情報お届けツールは
こちらのQRコードから
<https://www.pref.tottori.lg.jp/210753.htm>



避難情報・避難所開設状況/交通情報/
道路情報/ライフライン情報 など

- ▶ **ホームページ「とりネット」**
<https://www.pref.tottori.lg.jp/>

注意情報などのまとめページを設置（トップページの「防災・救急」又は特設リンクから）

- ▶ **「あんしんトリピーメール」**

スマホ、携帯電話等に気象情報・防災情報等をメールで配信

- ▶ **防災アプリ「あんしんトリピーなび」**

「あんしんトリピーメール」のプッシュ通知や最寄りの避難所情報など
9言語に対応



▲特設リンク



その他

- ▶ **テレビのデータ放送**
リモコンの「dボタン」から



- ▶ **各種スマートフォンアプリ**
Yahoo!防災速報 など



<https://yahoo.jp/gE1nBR>

(2) 県民への注意喚起等(その2)

2 災害リスクの確認、防災対策

ハザードマップで家の周囲の災害リスクや避難場所等を把握し、災害時の避難行動をあらかじめ確認するほか、あらかじめ大雨や強風への備えをお願いします。

ハザードマップ等で災害リスクを把握

ハザードマップ等で、自宅周辺の災害周辺地域等の危険性などを把握してください

- 周辺の危険度（浸水深、土砂災害警戒区域）
- 避難場所までのルート

ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



災害前の備え

気象が悪化する前に、準備をお願いします。

大雨への備え

- 大雨や台風接近のニュースや気象情報などを入手したら、早く帰宅し、家族と連絡を取り合う
- 大雨時に溢水するおそれのある雨どい、側溝、排水溝の掃除
- 非常持出品の準備

強風への備え

強風への備えをしておく

- 家の周囲の倒れやすいものは、固定か家の中に入れる。
- 窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- 停電・断水に備え、食料・水等を備蓄する。

強風が吹いている間は注意を怠らない

- 飛散物や転倒による負傷を避けるため、不要不急の外出は控える。
- 窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

災害時の行動確認

- 家族で災害時の行動についてあらかじめ確認してください。
避難場所をあらかじめ決めておく、避難ルートを確認、避難に備えマイ・タイムライン作成など

(2) 県民への注意喚起等(その3)

3 災害情報に基づく早めの避難行動

危険な場所にいる方は、市町村の避難情報に応じて速やかに避難と、避難開始の合図となる情報を「避難スイッチ」とした早めの避難行動を取ってください。

避難情報と警戒レベル相当情報

- 市町村の避難情報に応じて速やかな避難行動を取ってください
- 危険な場所にいる方は、警戒レベルに相当する気象情報等に応じ、避難情報の発令を待たず、早めの避難行動を取ってください

【避難情報（警戒レベル）と取るべき避難行動】

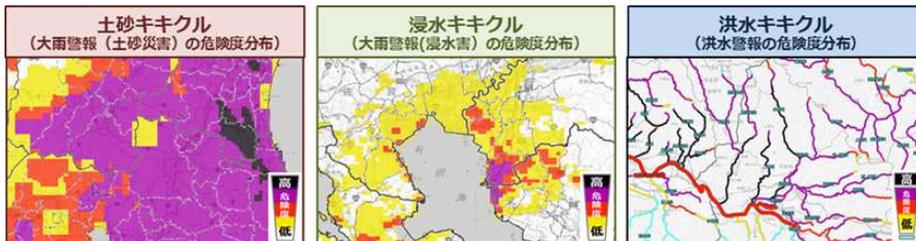
- ・ **高齢者等避難（警戒レベル3）**：高齢者や川沿いの地域等避難に時間を要する者や速やかな避難が必要な者が避難開始
- ・ **避難指示（警戒レベル4）**：全員危険な場所から避難
- ・ **緊急安全確保（警戒レベル5）**：すでに災害が起きている段階、建物高層への待避などできる限り安全を確保できる行動を

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警戒等	警戒レベルに相当する気象庁等の情報 キキクル (危険度分布)	指定河川 洪水警報
5	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができます、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 (必ず発令される情報ではない)	大雨 特別警報	災害切迫	氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難!>					
4	危険な場所から 全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害 警戒情報	危険	氾濫危険情報
3	危険な場所から 高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報* 洪水警報	警戒	氾濫警戒情報
2	自らの 避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を確認するなど。		大雨注意報 洪水注意報	注意	氾濫注意情報

「キキクル」で危険を確認

「キキクル」とは <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報です。



近くの川や自宅が「紫」なら避難を

避難判断にあたっての注意

- ・ 中小河川は水位が一気に上昇する。
- ・ 土砂災害の前兆現象に注意。（裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭など）
- ・ 外に出るのが危険な時は、屋内の少しでも安全なところへ避難。（2階、斜面から離れた部屋など）
- ・ 雨が止んだ後や弱い雨のときでも災害発生の危険。（令和3年熱海市の土石流など）

(2) 県民への注意喚起等(その4)

4 避難等にあたっての注意事項

周囲の状況を確認し、安全を確保して避難してください。

田んぼ・畑・水路など災害の危険のある場所は見に行かないでください。

避難時の注意

周辺が浸水した状態では、足元が見えず、ふたの外れたマンホールや側溝に落ちるおそれがあり、外を移動するのは大変危険です。

あらかじめ周辺の危険性を確認し、避難所への避難経路の安全性を確保してください。

冠水した道路を移動するときは、長靴をはかず歩きやすい服装で、棒状のもので足下を確認しながらできるだけ2人以上で行動してください。

状況悪化時は少しでも安全な場所へ

内水氾濫に注意

急激な大雨で、水路等から道路などへ水があふれ冠水する「内水氾濫」が発生することがあります。

河川の状況を確認して、河川氾濫がなく**内水氾濫と判断される場合、無理に屋外へ移動せず、屋内のなるべく高い場所等へ垂直避難してください。**

浸水が浅いときは、土のう等を設置して家屋への浸水を防ぎ、風呂・洗濯機・トイレ等の排水口を水のう栓するなど逆流を防いでください。

停電への備え

懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、携帯電話の充電器などを準備してください。

冠水に自動車で進入しないでください

エンジンが停止し立ち往生する危険性があります。

自動車での冠水箇所への進入や、道路や鉄道などの下を通る「アンダーパス」など周囲より低い場所の自動車通行を避けてください。

万が一、車内にまで浸水してしまった場合は、速やかにエンジンを停止し、車外へ避難してください。

大雨の際にはできるだけ運転を控えてください。

▶ 冠水危険箇所（鳥取県WEBサイト）

<https://www.pref.tottori.lg.jp/312616.htm>



食料・水等の備蓄

浸水の長期化で外出が困難になったときに備え、食料・水・生活必需品等を備蓄してください。

（最低3日分、推奨7日分）

【備蓄の例】

飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）

非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、

ビスケット、板チョコ、乾パンなど

トイレットペーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく・カセ

ットコンロ など

3 警戒・即応体制の確保

(1) 県の体制

○非常に強い台風です。暴風域が本県を通過する場合、大雨警報が発表された場合等には、早めに災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。

⇒各部局、各市町村におかれては、連絡・即応態勢の確保・再確認をお願いします

- ◆現時点では、本県への影響について警戒・監視を行いつつ、各部局において適時、県民等への注意喚起等を行う。
- ◆関係機関相互の合同対策協議(情報共有等)のため、必要に応じてweb会議(常時接続)を開設する。
- ◆鳥取県災害警戒本部設置時などに県から市町村にリエゾンを派遣。市町村の災害対応力を超えると予想される場合、被災市町村へ支援チームを派遣。

暴風域の本県通過が予想される場合の体制引き上げのめやす

- **注意体制** 本県が強風域に入った場合、公共交通機関の予定運休情報を入手した場合、大雨注意報
- **警戒体制 (1)** 暴風警報等の発表ほか〔⇒状況に応じて、鳥取県災害警戒本部を設置〕
- **非常体制** 大雨警報等の発表、線状降水帯による大雨予測情報〔⇒鳥取県災害対策本部を設置〕
甚大な被害が発生した場合、発生のおそれがある場合

3 警戒・即応体制の確保

(2) 県の対応

公共土木施設の対応

1 県民や自治体への情報提供

- 住民避難に資する水防警報や土砂災害警戒情報を発表、市町村に伝達。県各HPなどでもご確認下さい。
- 道路の交通規制などの情報を提供 通行規制情報一覧(<https://www.pref.tottori.lg.jp/223440.htm>)
- 河川や道路のカメラ映像の提供 鳥取県防災情報ポータル(<https://tori-bousai.jp/>)
- 河川の水位情報や土砂災害危険度がわかる専用ページ 鳥取県防災情報(<http://tottori.bosai.info/>)
- ダムの情報、状況がわかる専用ページ 鳥取県ダム情報提供システム(<http://tottoridam.jp/>)

2 公共土木施設の管理(県土整備事務所等に再周知、確認済)

(1) 県内河川における確実な排水機場等の稼働

- 排水機場や樋門等が洪水及び高潮に対して確実に稼働するよう、市町村と連携した適切な操作を実施する。
- 浸水常襲箇所への排水ポンプ車〔配備台数：東部地区(国2台、県3台)、中部(国4台、市1台)、西部(国1台、県1台)〕や人員を配置する体制をとる。

(2) ダムの管理

- 洪水に備え、県内全ての治水ダムの治水容量を確保しており、利水ダムを含め必要に応じて事前放流等を実施する。
- 気象状況・ダム水位等を注視し、ダム放流にあたっては、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとる。

※佐治川ダム…放流情報を市を通じて各戸に設置されている「音声告知端末」を活用して伝達。

緊急時に備え、県(ダム管理者)と地元代表者とのホットラインを構築。

市は、避難場所の確認や備蓄等について住民に音声告知端末で8/27以降に順次呼びかけ、事前に避難所を開設するよう準備。

公共土木施設の対応

(3) 高速道路等の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- 鳥取道及び山陰道は、基準雨量を超過した場合に事前通行止めとし、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道53号、国道9号等)へ誘導する。

(4) 冠水等への対応

- カメラによる監視・大雨時のパトロールを強化し、冠水が発生した際に速やかに道路規制を行い交通を誘導する。

(5) 令和5年災の対応・パトロール

- 令和5年台風7号被災箇所の応急対策は完了済み。復旧工事には順次着手しており、現時点で約8割着工済み。
- 稼働中工事現場の土砂流出対策や、強風対策として仮設材撤去及び資材・工事看板等の固定を指示。現場点検を実施し、安全対策を徹底する。
- 降雨状況や局地豪雨予報等を踏まえ、大雨の発生や推移に応じたパトロールや水防活動を行う。

3 災害発生時における初動体制の強化(各機関に再周知、確認済)

(1) (一社)鳥取県建設業協会との災害時応援協定

- 「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいた対応を行う。

(2) (一社)鳥取県測量設計業協会との災害時応援協定

- 災害応援協定(業務の内容)を拡充し、ドローン等を活用した、山間奥地を含む被災状況の早期把握及び測量を発災直後から実施する。

(3) 鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会との調整

- 被災時の現地調査への同伴、復旧方針及び工法検討への助言を行う。

電気事業(ダム・発電所)の管理体制

1 ダムの管理

＜ダムの状況＞8月28日 10時時点

[茗荷谷ダム] (若桜町): 事前に発電放流を実施し水位を下げ、洪水調整可能容量を確保

[中津ダム] (三朝町): 事前に発電放流を実施し水位を下げ、洪水調整可能容量を確保

	満水位	放流ゲート下端	ダム水位	貯水率	ゲート放流	基準降雨量 (/24時間)	予測降雨量 (/24時間)	洪水量
茗荷谷ダム	10m	6.5m	4.53m	34.5%	—	236mm	142.0mm	40m ³ /s
中津ダム	16m	11.6m	7.64m	24.3%	—	346mm	211.6mm	85m ³ /s

○大雨注意報で事務所待機、大雨警報(浸水害)でダム待機を行う。

(線状降水帯の発生予測も注視) ※ダム運用:PFI事業者(M&C鳥取水力発電株)

○水系毎の治水協定に基づき、予測降雨量が基準降雨量を超えるときは事前放流を実施し、洪水調整可能容量を確保する。

○ゲートから放流する際は、事前にサイレンを吹鳴し警報車でダム下流の河川巡視を行い、急激な河川水位の上昇を伴わない無害放流の範囲で放流する。

○早めの避難情報発信・避難所開設のため県からリエゾンを派遣する。

○無害放流開始時から町と情報共有を行い、洪水が想定される状況においては、避難対策等の安全確保に関する情報交換を密にし、ダムへの流入量が洪水量に達した場合、流入量に相当する流量をダムから放流する。



佐治発電所
(土嚢設置状況)

2 佐治発電所の管理

○入口・シャッター付近に土嚢を設置し、浸水被害に備える。

3 風力発電所の管理

○雷の発生又は毎秒25m以上の強風時は、羽根の角度を調節して風車の回転を停止(フェザリング)させる。

農林漁業者等への注意喚起

農業者及び関係団体等へ台風期における各種対策等注意喚起を実施（8/26）

1 農業関係

○夏期の台風に対する農業技術対策について各市町村、農協、農林局等へ周知。（8/22、26）

[連絡内容] 農作物の管理について(大豆、水稻、野菜、花き、果樹、飼料作物、家畜)

梨	ハウス二十世紀は出荷終了。新甘泉は8月20日販売開始(約3割出荷終了)。露地二十世紀は8月26日販売開始(約2割出荷終了)。棚の固定や枝の結束など落果防止対策、排水対策や降雨後の防除を指導。
白ネギ	夏ネギは約8割出荷終了。排水対策や降雨後の防除を指導。
ブロッコリー	秋冬ブロッコリーは約3割植え付け終了。排水対策や降雨後の防除を指導。

2 農地・ため池関係

○梅雨期及び台風期に対する防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。（8/23,26）

○梅雨前線豪雨で被災した農地等については、改めて被害拡大防止のための応急措置の実施を依頼。

3 林業関係

○各農林局等から管内事業者及び各市町村に対して土砂災害等の注意喚起を行った。併せて、二次災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけを依頼。（8/23,26）

○各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起を行い、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。

4 水産関係

○市町村及び各漁業協同組合や水産関係団体向けに、注意喚起を実施。（8/23,26）

公共交通機関の状況

(1) 公共交通機関の状況(8月28日 10時現在)

○JR西日本:8月29日(木)夕方以降、中国地方において列車の運転を取りやめる可能性があり、台風の進路や勢力により、翌30日(金)以降も長時間にわたり運転を取りやめる可能性あり

⇒8月26日 9時より体制を整備、随時対策本部会議実施

<参考> 山陽新幹線:8月29日(木)から31日(土)の一定期間、全線もしくは一部区間で、計画運休や長時間にわたる運転見合わせ等を実施する可能性あり
(東海道新幹線での大雨の影響で、現時点も遅れ等発生)

東海道新幹線:8月30日(金)から31日(土)の一定期間、全線もしくは一部区間で計画運休や長時間にわたる運転見合わせ等を実施する可能性あり
(静岡駅~豊橋駅間で昨日から降り続いた雨の影響により、現時点も遅れ等発生)

京阪神地区:8月30日(金)以降、近畿エリアの広範囲で、運転を取り止める可能性あり

○高速バス・路線バス:安全確保できない場合や道路状況等によっては運休等の可能性あり

○ANA : 鳥取空港、米子空港ともに8月29日~8月31日は運航への影響が懸念される

○エアソウル : 本日(8月28日)通常運航

8月30日(金)・9月1日(日)については、本日16時決定予定

○隠岐汽船 : 当日朝6:30の状況で判断

(2) 県民等への情報提供

運休等が発生した場合は、交通事業者や県のホームページ、あんしんトリピーメール等で県民に随時情報提供する。

学校・教育機関等への対応

1 学校・教育機関への注意喚起等

○台風の接近を踏まえ、文部科学省提供情報について、県立学校、市町村教育委員会、私立学校等へ周知を行う。

※児童生徒等の安全確保、施設設備の被害防止等について、遺漏がないよう関係機関に対し、注意喚起。

○今後も、最新の状況等を速やかに、関係機関へ情報提供する。

2 台風接近時の対応等

○今後の台風情報に留意し、児童生徒の安全確保等を最優先にし、対応を行う。

関係機関の対応

中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)の対応

○対応体制の構築

- ・グループ会社を含めた連絡体制を構築済。被害状況等に即応した対応体制へ移行

○停電の早期復旧に向けた取組み及び迅速な情報発信

- ・速やかな被害状況の確認・原因の特定、情報収集にあたっての自治体等との連携 など
- ・ビジネスチャットを使用した県土整備局様・NTT西日本様との倒木情報の共有
- ・停電情報アプリ、ホームページ等を活用した情報発信 など

○県民の皆さんへのお願い

- ・切れた電線や垂れ下がった電線には絶対に近づいたり、触れたりしないでください
- ・電柱・電線等が壊れているのを発見した場合、中国電力ネットワークへ連絡してください

NTT西日本(株)の対応

○県関係機関との連携強化及び迅速な情報発信

- ・県土整備局様、中国電力NW様とのビジネスチャットを使用した倒木等被害の連絡体制構築済み
- ・ホームページ、広報車等を活用した通信サービスに関する迅速な情報発信

○災害対策機器の点検、準備

- ・小型ポータブル衛星、携帯型発電機、ドローン、移動電源車等の災対機器の点検、準備済み
- ・浸水の想定される通信設備設置局舎への浸水防止板設置（8局舎）済み

○社内関係部への指示

- ・台風、大雨に備えた保守体制強化、リエゾン体制の準備を指示済み